朝焼けへの道

2014年8月21日　No.19

編集・発行　鈴鹿市革新懇事務局　萩森 繁樹

〒513-0012 鈴鹿市石薬師町354　090-4269-0965

「原爆と人間展」

8月6日～9日の4日間、図書館ロビーで「原爆と人間展」を行いました。

展示の期間が広島の日から長崎被曝の日ということもあり、大勢の方に関心を持って見て頂けました。若いお母さんがお子さんに話しかけながら見ているとか、お孫さんと一緒に見て下さっているという様子が目立ちました。

この写真展は鈴鹿市原水協主催で20年以上続いています。

当初はA3版のパネルであったり、広島の原爆資料館から借用したパネルを展示しました。その後長らく「市所有のパネル」を使用していましたが、3年前から新規作成のパネルを展示しています。

それと5年前からは「鈴鹿市の後援」をもらっています。

展示期間中、革新懇の会員も含め延べ56名の方に当番をして頂きました。

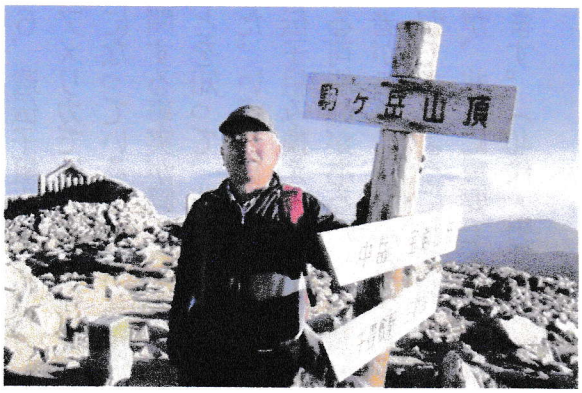
お陰様で「核兵器全面禁止のアピール」署名が約750筆集まりました。

8月は『原爆忌』『敗戦忌』と俳句の季語にもなっていて、大きな式典が開催される時期でもあります。反核平和を考えるきっかけになればよいと思います。［川北秀洋］

木曽駒ケ岳

7月29日朝8時出発。駒ケ根高原に昼ごろ到着。ソースかつ丼を食べ、バス、ロープウェーで千畳敷まで行きました。千畳敷は、高山植物でいっぱい。観光で訪れる人も多く賑わっていました。チングルマ、ナナカマド（秋は紅葉がきれいですが、夏は白い花を咲かせていました）などお花畑のようで綺麗でした。

そこから宝剣岳の麓の山荘を目指して瓦礫の中を一時間半程ゆっくり登り午後4時ごろ山荘に到着しました。



次の朝、なんと午前3時に起床。4時に木曽駒ケ岳への登山開始。頭に電灯をつけ、まだ暗い道を歩きました。

途中で日の出を拝み、よく晴れた遠くに南アルプスの山々と富士山の姿を見ました。夏にはなかなか見ることができないということでしたが、運が良かったようです。頂上で朝食を食べました。

帰りは、頂上から尾根伝いに遭難の碑（聖職の碑）がある所を目指しました。アップダウンを繰りかすとてもハードな道でした。折り返し、先を急ぎましたが、何度か雪渓を渡り、最後は急な登り返しの道、予定より大幅に遅れましたが午後2時頃やっとロープウェーの乗り場に到着しました。

登山の途中は、何でこんなえらい目をするのかと思いながら登るのですが、登り切った後の充実感は、登った者にしか分からないという気持ちになりました。［桑原　篤］

鈴鹿里山学院を初めて訪ねました

落合恵子講演会は大成功でした。その収益金約27万円のうち、15万円と絵本や果物等を8月6日、鈴鹿里山学院さんに実行委員会の皆さんとプレゼントしてきました。

三重県内の児童養護施設は12か所あり、全県一区。児童相談所を通して送られてくる。鈴鹿里山学院には2歳から18歳まで現在28人が生活している。鈴鹿、北勢の子が多い。

かつては親のない子が対象だったが、今では親はいるがさまざまな理由で育児に困難があり、預けられる子がほとんど。3～4年の間に親の養育環境が改善し、引き取られていくことが多い。国と県の補助金だけでやっている。職員は22人、夜勤もあり、続かない人もいる。ほとんどの人はこうした施設があることさえ知らない。みなさんのように支援していただくことはありがたいとのこと。何かあればまた訪ねてみたい、そんな気持ちにさせてくれる爽やかな訪問でした。［吉田一男］